



珪藻土は、吸放湿性・脱臭性・断熱性などの特性を生かした建築物の内装仕上塗材の原材料として、近年特に注目され、多くの建築物で使用されています。

また、建材の用途以外でも、高い濾過性能を生かし、食品業界などでも多量に使われています。

ところが、最近報道されたアスベストの発がん性に端を発し、本来安全である珪藻土に対しても疑いの目が向けられるようになってしまい、不明確な情報によって、珪藻土を使った仕上塗材について多くの質問が寄せられています。

珪藻土について、正しく理解していただくために、国内外の公的評価を再確認し、併せて他の素材との違いを明確にすることで、珪藻土を安心してご使用いただければ幸いです。

- ①珪藻土には発がん性があるのでしょうか？
- ②ドイツでは珪藻土が使用禁止になっていると聞きましたが？
- ③珪藻土とアスベストはどう違うのですか？
- ④珪藻土を焼くと結晶質シリカになると聞いたのですが？
- ⑤結晶質シリカは安全なのですか？
- ⑥珪藻土に関連する国内法規制はあるのですか？
- ⑦珪藻土を用いた仕上塗材の性能評価基準 安全性基準
- ⑧米国での珪藻土の用途と年間需要量 参考資料)

珪藻土とは、水中に生息している珪藻(微細な植物プランクトン)の残留骨格から成る鉱物です。

珪藻土は非結晶質の二酸化ケイ素が主成分の天然物で、採掘された後処理されて、

吸収材・ろ過助剤・建材などのさまざまな用途に使用されています。

